

施策評価調書(2年度実績)

					施策コード	Ⅲ-4-(2)	
政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部		長期総合計画頁	151
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の高速化の促進	広域交通ネットワークの強靱化の推進	

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)	①、③	H26	73	76	76	100.0%	78												
ii	九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合(%)	①、③	H30	52	52	52	100.0%	54												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 中津日田道路「耶馬溪道路」や国道217号平岩松崎バイパスの開通により、目標値を達成した。	達成
ii	達成 中津日田道路「耶馬溪道路」や国道217号平岩松崎バイパスの開通により、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路「竹田～阿蘇間」及び中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備促進と、中津日田道路「耶馬溪道路」「日田山国道路」の整備支援及び「耶馬溪山国道路」の補助事業採択について国への要望活動を引き続き実施した。 ・中津日田道路のうち耶馬溪道路がR3.2に開通した。また、R3.3には「耶馬溪山国道路」が新規補助事業として採択された。 ・R3.3に中九州横断道路「大分～犬飼」間が、R3年度から計画段階評価を進めるための調査に着手することが発表された。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、県民の機運醸成のためのPR動画の制作・配信や啓発グッズの作成、国への要望等を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴崎大南線別保橋など緊急輸送道路上の橋梁について、落橋を防ぐ耐震対策を実施した。 ・災害時の輸送の代替性を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、国や関係機関への要望活動を引き続き実施し、「4車線化の優先整備区間」に指定されている「院内IC～速見IC間」及び「大分宮河内IC～佐伯IC間」のうち、「大分宮河内IC～臼杵IC間」が、R3.3に国土交通大臣より高速道路会社へ事業認可された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	368
②	東九州新幹線推進事業	67.5	368
③	道路施設補修事業	—	133
	港湾整備事業	—	365

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田阿蘇道路の早期完成と、本誌の主要幹線道路とのICの整備並びに大分～犬飼間の早期事業化について特段の配慮をお願いする。 ・日田山国道路及び耶馬溪道路の事業推進並びに国土交通省の直轄事業である三光本耶馬溪道路の早期完成に向けて県関係機関の力添えをお願いする。 ・耶馬溪町から山国町間の早期事業化に尽力を賜うようお願いする。 ・東九州道の鹿児島までの全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いする。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(R2.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道の事業化された区間の早期完成と、優先整備区間の早期事業化 ・中九州横断道路(竹田～阿蘇間)の早期完成と東九州自動車道への接続について国や関係機関に働きかけていただくよう特段の配慮をお願いする。 ・中津日田道路の建設促進について特段の配慮をお願いする。 <p>○経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(R2.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州新幹線の早期実現について特段の配慮をお願いする。
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・中津日田道路「耶馬溪道路」が開通し、「耶馬溪山国道路」が新規補助事業採択されたものの、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。 ・東九州道自動車道「宇佐IC～院内IC間」、「宮河内IC～津久見IC間」に続き、「大分宮河内IC～臼杵IC間」がR3年度に4車線化が新規事業化されることとなった。残る「優先整備区間」について、引き続き早期事業化を要望していく。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、国等へ強く働きかけていくとともに、県民の機運醸成を図るため、シンポジウムや説明会を開催し、将来を担う若い世代を含む幅広い世代に周知を行う。